

インフルエンザの予防接種を受けましょう

【申請先・問い合わせ】

○乳幼児インフルエンザ：健康推進課 ☎ 22-9653 FAX 22-9666
○高齢者インフルエンザ：健康推進課予防接種係 ☎ 41-1550 FAX 51-5193
✉ kenkousuishin@city.iga.lg.jp



乳幼児 高齢者

乳幼児や65歳以上の高齢者、慢性の持病がある人は感染すると重症化しやすいため、流行する前に予防接種を受けましょう。インフルエンザワクチンに限り、新型コロナウイルスワクチンと接種間隔をあける必要はありません。

	乳幼児インフルエンザワクチン	高齢者インフルエンザワクチン
対象期間	10月1日(日)～令和6年1月31日(水)	
対象者	接種日当日に市内に住居登録がある平成29年4月2日以降に生まれた人	接種日当日に市内に住居登録がある①または②に当てはまる人 ①65歳以上の人 ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能不全またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいや身体障害者手帳1級相当の人
持ち物	健康保険証・母子健康手帳	健康保険証
接種方法	市内医療機関 予防接種を希望する医療機関に直接予約してください。 【助成額】 1回1,500円(2回まで) ※医療機関窓口で費用から助成額を差し引きます。(申請不要)	市外医療機関 予診票、医療機関宛での依頼書を発行します。接種後、申請により接種費用から自己負担額を除いた額と上限額(2,356円)のいずれか低い方の額を振り込みます。 【助成額】 1回1,500円(2回まで) 【申請に必要なもの】 ○予防接種を受けたことがわかる領収書 ○通帳(振込先が分かるもの) 【申請書提出期限】 令和6年2月29日(水)
	市外医療機関 市外で予防接種を受けた場合、申請により接種費用と下記の金額のいずれか低い方の額を振り込みます。 【助成額】 1回1,500円(2回まで)	市外で予防接種を受ける場合、接種する日の1週間前までに健康推進課予防接種係に申請してください。予診票、医療機関宛での依頼書を発行します。接種後、申請により接種費用から自己負担額を除いた額と上限額(2,356円)のいずれか低い方の額を振り込みます。 申請フォーム

◆市内実施医療機関(50音順)

医療機関名	乳幼児	高齢者	医療機関名	乳幼児	高齢者	医療機関名	乳幼児	高齢者
あさやま腎泌尿器科		○	河合診療所	○	○	中産婦人科緑ヶ丘クリニック	○	○
アクアクリニック伊賀	○	○	川原田内科		○	梨ノ木診療所	○	○
浅野整形外科内科	○	○	紀平医院		○	西田整形外科医院		○
あずまクリニック		○	黒田クリニック	○	○	ぬのめ眼科		○
あずま診療所		○	佐々木内科		○	ひらい小児科クリニック	○	○
阿波診療所	○	○	佐那具医院		○	広瀬医院		○
伊藤医院		○	嶋地医院		○	まちしクリニック	○	○
いまむら整形外科		○	しみずハートクリニック		○	松本胃腸内科		○
上野総合市民病院	○	○	しもむら整形外科		○	宮本医院		○
馬岡医院		○	城医院	○	○	森川病院	○	○
おおすみ整形外科		○	滝井医院	○	○	森田クリニック		○
大西医院		○	竹沢医院		○	ゆめが丘クリニック	○	○
おおのクリニック		○	竹沢内科歯科医院		○	ゆめこどもクリニック伊賀	○	
岡波総合病院	○	○	たにぐち皮フ科		○	吉村クリニック		○
亀田クリニック		○	谷本整形		○			

行政情報番組「ウィークリー伊賀市」

こどもアナウンサー大活躍

【問い合わせ】 秘書広報課 ☎ 22-9636 FAX 24-7900 ✉ hisho@city.iga.lg.jp



行政情報番組「ウィークリー伊賀市」では、夏休み特別企画として、こどもアナウンサーが市民スタッフと一緒に情報をお伝えしました。今回こどもアナウンサーに応募してくれたのは、緑ヶ丘中学校1年の森井月花さん、三訪小学校6年の廣岡啓信さん、上野西小学校5年の西岡大輝さん、久米小学校5年の福中勝志さんの4人です。

番組の中で今夢中になっていることを聞くと、森井

さんは朗読をしたり、劇団に入って演劇をしていること、廣岡さんは家族に美味しいオムライスを食べたこと、西岡さんは毎週参加しているサッカーチームで練習をしていること、福中さんは月に15冊以上も本を読んでいることを、カメラの前でいきいきと話してくれました。アナウンサーを体験した4人の感想を紹介します。



森井 月花さん

応募したきっかけはアナウンサーはどんなことをしているかを知りたいし、伊賀市のことを明るく楽しく伝えたいと思って挑戦してみました。

見ている人が聞きやすく、次の情報を聞いてみたいと思えるように落ち着いて話すことが大事だなと思いました。

廣岡 啓信さん

普段人前で話すのとは違って、スタジオの中でたくさんの人や機材に囲まれての収録はとても緊張しました。行政チャンネルがこうやって作られているのを知れて楽しかったです。



西岡 大輝さん

皆さんに情報を伝えるために、もらった原稿を何回も読んで練習しました。市民スタッフの皆さんが毎回こうやって練習して番組で話していることがわかりました。難しい言葉もたくさんありましたが、とても勉強になりました。初めての体験でドキドキしたけど楽しかったです。

福中 勝志さん

学校での音読とはちがってカメラに向かって原稿を読む経験は初めてなので少し緊張しましたが、とても勉強になったし、楽しかったです。

